



今回私は、『就職1年目の自分へ』というお題を頂きました。私はこの4月で瀬戸こども園に就職して5年目になります。今回このようなお題を頂いたので、瀬戸こども園での4年間を振り返ってみようと思います。

1年目は、2歳児クラスのひよこ組を担当させていただきました。周りの職員や子ども達から学ぶことは多く、毎日が勉強で1日1日があつという間に過ぎていったことを思い出します。どうすれば子ども達と上手に向き合えるのか悩んだこともありました。「こうすればよかった」と反省することもしばしばありました。しかし仕事に行きたくない”と思う日は1度もなく、「今日は子ども達とどんなことをしようか！」「昨日は〇〇だったからこうしてみよう！」等と楽しみながら仕事をすることができました。また子ども達が初めて「こうこうしえんしえ」「こもしえんしえ」と私の名前を覚えて呼んでくれた日のことを鮮明に思い出します。まだ文章にして相手に伝えることはできないけれど、私の名前を覚え、呼んでくれたことがとても嬉しかったことを記憶しています。大学時代に経験した実習とは違う責任の重さを感じると共に、“保育教諭”という仕事にやりがいを感じる日々でした。

2年目は、3歳児クラスのうさぎ組を担当させていただきました。乳児クラスからの幼児クラスで仕事に対する不安はありましたが、持ちあがりということで、1年目に持った思い入れのある子ども達とまた過ごせることを嬉しく思っていました。複数担任から1人担任となり、全て自分が判断しなければならぬということに「これで合ってるのかな？」「大丈夫かな？」と不安になることもありました。自分のことで精一杯で周りが見えておらず、迷惑を掛けてしまうこともありました。そんな時、周りの幼児クラスの職員に「〇〇の時は～するんだよ！」「大丈夫、大丈夫！そんな日もあるよ！」「私も先生ぐらの時に〇〇だったよ！みんな通る道だから大丈夫！」と声を掛けてもらい、救われたことがありました。その時、自分もこのように困っている人がいた時に頼りになれる職員になりたいな！と強く感じました。

3年目は、同じ3歳児クラスのうさぎ組を担当させていただきました。1年前のことを思い出しながら、「あの時はこういう風にして上手いかなかったから、こうしてみよう！」等と反省を基に進めていきました。また少しずつ自分の中で「こういう風にしてみたい！」「〇〇できる子に育ててほしい」等と見通しを持ちながら進めることができるようになり、自分の中での保育観が確立されたのもこの時期だったように思います。

4年目は、5歳児クラスのぞう組を担当させていただきました。1年目に見た子ども達を送り出せることを嬉しく思い、自分自身も期待と意欲を持って過ごすことができました。就学に向けてそれぞれの課題を明確にし、継続して取り組んでいくことの大切さを実感した1年でした。また行事も多く、準備も大変でしたが、一緒に取り組む中で乗り越える達成感や充実感を子ども達と共有することができました。一つひとつの行事を通して、ひとまわりもふたまわりも大きくなった子ども達。行事は暦通りにあるだけでなく、子ども達の心を動かす貴重な経験になる事を改めて感じました。ひよこ2組の時の姿を思い浮かべると、「身体も心も大きくなったなあ」と感じるとともに、子ども達の成長過程に携われたことを嬉しく思い、改めて“保育教諭”という仕事にやりがいと誇りを感じる大切な1年となりました。

そして、今年4歳児クラスのりす組。初めて持つ年齢と子ども達。1カ月前まで就学前の子ども達を見ていたこともあり、4月当初は姿の違いに戸惑いを感じることもありました。そんな時、初めて持つ年齢と子ども達は、自分が就職した1年目と同じ状況だな、と思い出しました。“1年目の自分はどうしたのだろう”とひよこ2組の時の日誌を振り返ってみることにしました。すると様々な失敗・反省を繰り返し、年齢は違いますが“子ども達の立場になって考えてみる”、“子ども達と一緒に楽しく”といった今の自分が大切にしなければいけないことが書いてありました。4年前に書いていた日誌を読み返し、自分なりに考え、実践・反省を繰り返していたのだと過去の自分に勇気づけられたような気がしました。

そして4年間を振り返った時、自分は周りの職員に助けられているということを改めて認識しました。就職1年目の私が“仕事楽しい！”と思えたのは周囲の職員に作ってもらった環境のおかげだと思います。周りの職員は私が進める教育・保育に“それは〇〇した方がいい！”と思ったことがあると思います。しかし“失敗”という経験を存分にさせてもらったお蔭で、“次は〇〇してみよう！”と自分で考える姿に繋がっています。これは大人に限らず、子ども達にも同じことが言えるのではないかと考えました。自分達で経験する中で学ぶことができる環境を作ることも私たち保育教諭の仕事です。

今回『就職1年目の自分へ』というお題を頂き、自分の教育・保育、考え方を見つめ直すことができました。“初心忘れるべからず”ということわざがありますが、もし自分が迷った際には初心に戻り、自分のすべきことを見つめ直していこうと思います。また、自分が今まで周囲の職員にフォローしてもらったように、自分も周囲の力になりたいと強く感じました。

(2019年4月)

